

もりぐち市議会だより

発行：守口市議会 問合せ先：議会事務局庶務課 ☎ 6992-1782

市議会ホームページ http://www.city.moriguchi.osaka.jp/contents/gikai/menu_new.html



「もりぐち市議会だより」は、今月号から紙面をリニューアルしました。

昨年の「守口市こどもまつり」 淀川河川公園（八雲地区）



2月定例会

平成25年度予算を可決 総額851億858万8千円

2月定例会は、2月22日から3月25日までの32日間の会期で開催しました。

この定例会では、市長から市政運営方針の説明が行われ、これに対する各会派の代表質問を行いました。

また、市長から提出された「平成25年度一般会計予算」などの議案28件を審議し、それぞれ可決しました。なお、「平成25年度一般会計予算」の一部は凍結することとなりました。

請願1件については不採択と決し、議員から提出された議案4件、決議案1件を可決しました。

目次

- 議案の概要…………… 2、3ページ
 - ・一般会計予算
 - ・事務分掌条例の一部改正
 - ・人事案件など
- 代表質問…………… 3～5ページ
- 採決結果一覧…………… 6ページ

守口市議会では、市民の皆様さらに市議会の活動状況を知っていただくために、本年2月定例会から、本会議生中継及び録画配信の実施や市議会ホームページの改良など、積極的な情報発信に取り組んでおります。

また、このたび「もりぐち市議会だより」の紙面につきましても、リニューアルいたしました。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

守口市議会

25年度一般会計予算

531億7千万円

議案第18号

一般会計予算

〈議案内容〉

歳出については、職員に係る人件費が減少した反面、新たに民間委託を実施する予定のごみ収集業務や保育所の給食調理業務などの委託費の増加が主なものとなっています。歳入については、個人の給与収入や企業収益の減少による市税の減少が見込まれています。

〈審議経過〉

公立保育所3園における給食調理等業務委託について、民間委託により市の直営以上に費用を要することが明らかとなりました。その後、市長から、委託予定箇所も含め、再度検討するため当該予算を凍結する旨の答弁があり、今後財政効果等について十分精査された上で、検討を加えることなどの議論を行いました。

滝井小学校・春日小学校・第三中学校の小中一貫校をはじめ、統合校の通学区域については、原則現在の校区を統合する方針となっているが、将来の児童・生徒数の推移を見据えるとともに、地域、保護者の理解を得ながら、今後、通学区域の設定について、柔軟に検討することなどの議論を行いました。犯罪の抑止や解決に有効である防犯カメラについては、市として、今年度から新たに設置を補助することとなる。町会、自治会等からの申請に対して、警察による犯罪多発地域の情報を参考にしながら、地域の要望に応えるよう、今後とも防犯カメラの計画的な設置に向け、取り組んでいくことなどの議論を行いました。

〈結果〉賛成多数で可決しました。

議会用語豆辞典

予算の凍結

予算の凍結とは、法的根拠はありませんが、予算の修正を行わず、予算執行の一部を停止することをいいます。



本庁舎1号別館1階に総合窓口を設置

議案第13号

事務分掌条例の一部改正

〈議案内容〉

市民サービスの充実を図ることを目的に、市民生活部内に総合窓口を設置するため、条例の一部を改正するものです。総合窓口では、転入・転出などの住民基本台帳や戸籍の手続き、後期高齢者医療・乳幼児医療の一部の手続きや関係課への案内、税の証明書発行を行います。

〈審議経過〉

今回設置予定の総合窓口は、市民が手続きをその場で終わらせることができず、関係課へ案内するものが多い。将来的には、より市民の利便性を向上させる観点からも、来庁した市民が1つの窓口で多くの手続などを完了できるワンストップ化に向け、取り組んでいくことなどの議論を行いました。

〈結果〉満場一致で可決しました。



市民、NPOなどの協働を促進

議案第15号

市民協働指針策定委員会設置条例

〈議案内容〉

公共サービスの提供を、行政、市民、NPOなどが対等な立場で担っていく協働の取り組みの基本原則などを示した指針の策定にあたり、策定委員会を設置するため、条例を制定するものです。学識経験者、公共的団体の代表者、市民など幅広い層が調査・審議します。

〈審議経過〉

市民協働を進める上で、策定委員会に幅広い層の市民参画を図り、多様な意見を反映したより良い指針策定に向け、鋭意取り組むことなどの議論を行いました。

〈結果〉満場一致で可決しました。



職員退職手当引き下げ

議案第25号

職員の退職手当に関する条例等の一部改正

〈議案内容〉

国家公務員の退職手当において、支給水準の引き下げが行われ、また、新たな支給制限及び返納などの制度が設置された状況を踏まえ、市においても、国に準拠した退職手当制度とするため、関係する条例の一部を改正するものです。

職員の退職手当の支給水準の引き下げについて、調整率を段階的に引き下げていくことが主なものとなっています。

〈結果〉満場一致で可決しました。



地域コミュニティ拠点施設

施設のあり方を検討

議案第16号

地域コミュニティ拠点施設検討懇話会設置条例

〈議案内容〉

地域コミュニティの拠点機能を持つ多機能な施設の整備を進めるにあたり、施設の役割や機能など基本的な事項を明らかにし、基本計画を策定する必要があることから、検討懇話会を設置するため、条例を制定するものです。学識経験者、公共的団体の代表者、市民など幅広い層が、施設のあり方について調査・審議します。

〈審議経過〉

地域コミュニティ拠点施設のあり方については、アンケートなどで市民ニーズを的確に捉えるとともに、それぞれの地域の意見も反映させた上で、広く市民に利用される施設となるように基本計画を検討すること。また、高齢化社会にも対応した機能を取り入れるなど、本市の将来像を見据えながら、より良い方向性を見出してもらいたいなどの議論を行いました。

〈結果〉満場一致で可決しました。



地区体育館で行われているバレーボール

決議案第1号

北朝鮮による核実験実施に対する決議

〈提出者〉

三浦健男 真崎 求 和仁春夫 上田 敦
井上照代 澤井良一 竹内太司朗 作田芳隆

北朝鮮による核実験実施に対する決議

北朝鮮は、2月12日、核実験を実施したと発表した。平成18年及び平成21年と過去2回の核実験の際にも、国際社会は強く非難し、厳重に抗議を行った。しかしながら、昨年12月にミサイルを発射し、我が国を含む国際社会に重大な脅威を与えたばかりであるにもかかわらず、今回3回目となる核実験が行われたことは、これまでの関連する国連安保理決議にも明らかに反するものであり、国際社会に対する重大な挑戦である。

北朝鮮が核実験を強行したことは、国際社会のルールや秩序を無視した暴挙であり、国際社会の平和と安全を著しく害するものである。唯一の被爆国である我が国としては、断じて認めることはできない。よって、本市議会は、政府において、これまで以上に強力な外交を展開するとともに、関係諸国と連携し、断固とした対応を採るよう強く求める。また、環境面への影響についても十分な調査を行うなど、国民の不安を払拭するよう適切な対策を講じることが求められる。

守口市議会

〈結果〉

満場一致で可決し、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長に送付しました。



人事案件

選任同意第1号

監査委員の選任について

次の方を選任することに同意しました。

山川 勇 一氏【再任】

(守口市西郷通2丁目)

選任同意第2号

教育委員会委員の任命について

次の方を任命することに同意しました。

首藤 修 一氏【再任】

(枚方市東中振1丁目)

議案第23号

人権擁護委員候補者の推薦について

次の方を推薦することに異議がない旨、議決しました。

福田 治 夫氏

(守口市高瀬町4丁目)

請願第1号

保育所の給食は民間委託ではなく直営の存続を求める請願

〈請願者〉

代表者 守口市藤田町5-9-3・205

小野松美紀氏ほか 2千171名

〈紹介議員〉 真崎 求

〈請願内容〉

公立保育所の給食は民間委託ではなく、職員を採用して直営を堅持することを請願するもので、平成25年2月14日に受理しました。

〈審議経過〉

民間委託を行っても、子どもたちの突然の体調不良による給食メニューの変更など、迅速に対応できる体制であることなどの議論を行いました。

〈結果〉

賛成少数で不採択となりました。

以上、主な議案の概要を掲載しています。全議案などの審議結果は、6ページに掲載しています。

市長の市政運営方針に対する 代表質問

主な質問の要旨を3～5ページに掲載しています。



守口市議会公明党

- 上田 敦 立住 雅彦
- 井上 照代 小鍛冶宗親
- 松本 満義 小東 徳行
- 西田 久美



上田 敦 議員

被災者支援システムの試運転及び実践演習について

【質問】 昨年12月に導入された「被災者支援システム」の試運転及び実践訓練を実施し、一番有益な状態で稼働できるようにする必要がありますがどうか。

【答弁】 現在、災害に見舞われた際、迅速に支援するシステムとして稼働するよう、平時よりテストを行い、住基データの更新も毎日行うなどの体制を整えている。今後は、システムプログラムの更新を適切に行うとともに、実践訓練で活用していく。

行財政改革と業務改善について

①PFI手法の導入について

【質問】 昨年9月定例会のPFI手法導入の質問から既に半年が過ぎているが、プロジェクトチームの設置も含め、どのような検討をしているか。進捗状況はどうか。

【答弁】 現時点では職員が説明会などに参加している段階であるが、その重要性は認識していることから、早急にプロジェクトチームを設置し、PFI方式の導入指針を作成していく。

②公会計システムの本格導入について

【質問】 大阪府は平成24年度に複式簿記・発生主義による新公会計を本格運用しているが、導入を検討してはどうか。

【答弁】 下水道事業会計においては、現在、単式簿記による官庁会計方式から複式簿記による企業会計方式への移行準備を進めている。一般会計においては、貸借対照表及び損益計算書を公表しており、さらに新地方公会計制度については、現在、総務省方式改訂モデルを採用し、すでに平成20年度決算から公表している。現在、国は新地方公会計制度を更に推進していくための研究会を開催しており、その議論を見定める中で、新制

救急安心カードについて

【質問】 救急安心カードは、救急搬送時における現場にあつて、大きな効果があることから、導入すべきと考えられているか。

【答弁】 平成25年度から実施する安否確認ホットライン事業では、市民に対する周知チラシの配布を予定しており、自宅貼付用として緊急時の連絡先、血液型、既往症などを記載する項目を設け、救急安心カードとして利用してもらえるものと考えている。また、市広報などで周知し、ホームページからもカードを作成できるように掲載する。



学校給食におけるアレルギー対策について

【質問】 アレルギーマスクを持つ児童の事故を防ぐため、誤食を防ぐ環境づくりと発症した場合の緊急措置の準備が必要と考えるがどうか。

【答弁】 各学校においては、アレルギーのある子どもの実態を把握し、除去食を含めたアレルギー対応について、全教職員で共通理解を図っている。緊急措置対応が、どの学校でも適切に行えるよう、本市教育委員会としても研修を実施するとともに、保護者・学校医など関係機関と連携し、子どもの安全に万全を期していく。

日本共産党 守口市会議員団

- 真崎 求
- 杉本 悦子



杉本 悦子 議員

国旗の常時掲揚について

【質問】 反対の市民にどう配慮するのか。市旗は、どう考えているのか。

【答弁】 国旗を市の各公共施設に掲げることにより、次代を担う子どもたちが国旗に慣れ親しむこととなり、国を愛する意識や、国際社会の平和につながることを考える。また、国旗は日章旗が国民の間にも広く定着していることなどを踏まえ法制化されたものであり、嫌悪感などの感情は非常に少ないと考える。

小・中学校におけるソーラーパネルの設置について

【質問】 小・中学校の耐震改修及び大規模改修の補正予算で、一部小・中学校の屋上にソーラーパネルの設置を予定しているが、市政運営方針で一言も触れていないのはなぜか。どのような効果を期待し、どのような計画で設置するのか。

【答弁】 学校施設の耐震化が統合予定校を除き、ほぼ終わる見込みとなったことから、平成24年度補正予算の繰り越し分の主要施策として述べたものであり、耐震化と合わせて設置していく。

ソーラーパネルの設置は、環境負荷の低減やライフサイクルコストの縮減及び節電を目的としている。また、環境・エネルギー教育の教材として活用でき、節電意識の向上が図れると考える。耐震化が終わった学校については、実情に合った設置を検討したい。

女性議会の開催について

【質問】 街づくりなどに関する女性の意見や提案を市政に反映させることが求められているが、女性議会を行ってはどうか。



【答弁】 本市の今後の施策を展開していく中で、女性の視点の反映は重要と考える。現在は、各種審議会委員を公募するなど、女性の市政への参加、参画機会の拡充に努めており、現時点での実施は考えていない。

文書管理条例の制定について

【質問】 文書不存在を防ぐため、文書管理条例が必要と考えるがどうか。

【答弁】 公文書の適正管理については、毎年職員研修を実施するなど、文書管理事務の指導を図ってきたが、不手際による紛失事態は許しがたく、遺憾である。このことから、一層の適正管理を徹底するため、マニュアルによる研鑽を深めるとともに、文書取扱規程を遵守するよう周知徹底を図っていききたい。公文書管理条例の制定は、今後研究していきたい。

ウォーキングによる健康つへの実施について

【質問】 毎年11月に西三荘からのゆとり道ウォーキングが定着しているが、年に数回、町会や事業所、各種団体に呼びかけ大々的に取り組んでほしい。

【答弁】 健康増進計画では、ウォーキングは幅広い年齢層が親しめる運動として位置付けている。毎年11月の「守口健康ウォーキング」について、更なる周知を図り、身近にできるウォーキング事業の普及・拡充に努め、生涯を通じた健康づくりの支援を進めていく。

改革クラブ

和仁 春夫
服部 浩之



服部 浩之議員

子育て世代専用SNSの立ち上げについて

【質問】 子育て支援のホームページであるすこやかネット守口と連携して、専用のSNSを立ち上げてはどうか。

【答弁】 SNSについては、制約を受けることなく、特有の利便性を有している方法であるが、同時に市が実施するには、安全管理を徹底した上で、信頼できるサイト運営が求められることから、今後、研究・検討をしていきたいと考えている。



子育て支援センター

若者のニーズ調査について

【質問】 若者と一口に言っても、ニーズは人それぞれであり、大きなニーズの方向性を統計調査する必要があり、リサーチを実施し、今後の施策立案に生かすことは非常に重要であると考えるがどうか。

【答弁】 市内商店街において高齢化が進む中、活性化策については、若者の参画や幅広く意見を聴取することが必要であると考え、マーケティングリサーチの手法についても研究していきたい。

公共施設で行われる

イベントの告知力アップについて

【質問】 エナジーホールなどの公共施設でのイベントの告知力の弱さを感じるとより、宣伝力・告知力の強化を図ることが肝要であると考えがどうか。

【答弁】 これまでから、公共施設で行われるイベントの告知については、市広報やホームページへの掲載、FMハナコへの出演など、担当課の判断において行ってきた。今後は、掲示板の管理も含め、イベントに訪れたくなるようなチラシのデザインなど各種メディアを使用した周知方法について研究していく。

大日駅前への小型アトススペースの設置について

【質問】 人通りの多い地下鉄大日駅とモノレール大日駅との間に、小さなアトススペースを設置してはどうか。

【答弁】 作品展示については、市保有の作品や既存施設の活用も含め、文化的魅力の発信について検討していく。

いろいろな向き合い

対処できる耐性をつける教育について

【質問】 いじめというものに対して、子どもたちがどのように立ち向かうか、生きる力をどのように身につけるか、世の中の悲しみに対する「耐性」をいかに養うかということについて、どのような対応を取ろうとしているのか。

【答弁】 いじめやいじめの向き合い対処できる耐性を養うことは、非常に重要なことであると認識している。生きていく上で、人生の目的、目標を明確に持つことが、その耐性を養うことにつながる。今後も、本市の教育理念である夢と志を持つ児童・生徒の育成に努めていく。

守口新政会

竹内太司朗
甲斐 礼子
江端 将哲



竹内太司朗議員

国旗の常時掲揚について

【質問】 国際交流・国際理解の推進として、国旗を常時掲揚するための予算が計上されているが、肝心の条例案の制定はなぜ提案されていないのか。

【答弁】 国旗の常時掲揚は、できるだけ安定した運用を行う必要があると考えていることから、各施設の運用状況により、条例化も視野に入れながら検討したいと考えている。

現在の財政状況に対する

市長の認識について

【質問】 現在の財政状況に対する市長の認識はどうか。

【答弁】 平成19年度決算では赤字が約40億円という危機的な状況を回避するため、市議会からの提言により緊急避難的な措置として活用した基金からの繰り替え運用残高が約21億円あり、基金への繰戻しを終えたときが実質的赤字解消として捉えている。今後、新たな施策を展開していくためにも、一日も早く強固な財政基盤を構築していく必要があると考えている。

保育所の待機児童の解消について

【質問】 保育所の待機児童の解消が急務と考えるが、早期解消に向けて、具体的にどう考えているか。

【答弁】 待機児童の解消に向けて、民間保育所に対しては、施設の老朽化に伴う園舎建て替えによる定員増にも取り組んでいる。公立保育所においても、寺方、南保育所の統合計画を進める中で、待機児童の多い年齢での定員増を予定しており、待機児童の解消の早期実現に向け取り組んでいきたい。



ホットラインについて

【質問】 安否確認ホットラインやいじめホットラインなどにおいて、メールでも相談できる窓口が必要と考えるがどうか。

【答弁】 情報収集の媒体については、電話に限らず、メールでも対応していく。いじめホットラインは、電話での相談が多い現状から、友達や家族、学校でも相談しづらい子どもたちの相談窓口として開設する。また、電話以外でも現在、ホームページやカード配布等を活用し、24時間体制でくすのきメール相談を受け付けており、あらゆる機会を通じ、周知に努めていく。



教育について

【質問】 昨今いじめや体罰の問題、夢や志を持たない子どもたちの増加が取り上げられている中、心を強くし、優しい心を持った子どもたちを増やす必要がある。この機会に「守口市教育憲章」の制定、また「立志式」の導入を検討してはどうか。

【答弁】 教育憲章制度や立志式の導入については、子どもたちに夢や志を持たせたいという趣旨と想つので、貴重な示唆であると受け止めさせてもらう。

志政会

作田 芳隆
池嶋 一夫



作田 芳隆議員

市内各公共施設における

国旗の常時掲揚について

【質問】 国旗の常時掲揚の意義はどのようなものなのか。また、各公共施設の掲揚は誰が行うのか。祝祭日の対応はどうするのか。

【答弁】 国旗を市の各公共施設に掲げることにより、市民、とりわけ次代を担う子どもたちが国旗に慣れ親しむこととなり、ひいては我が国を愛する意識や、国際社会の平和につながることを考えている。掲揚を行う者は、各施設の状況に応じ、市の職員、指定管理者の職員などである。さらに、国旗の掲揚は、その施設が開いている日を考えており、小・中学校と同様に「国旗の掲揚に関する基準」を定め、各施設の状況に応じ対応していきたい。

ごみ収集業務の委託について

【質問】 平成25年10月から進める一般家庭可燃ごみとプラスチック製容器包装の収集業務の民間委託について、段階的に進めるべきではないか。将来的に直営ほどの程度担保されるのか。

【答弁】 ごみ収集業務の委託については、もじへち改革ビジョン(案)において、



ごみ収集車

て、まずは平成25年度で約半分の市域について民間委託を実施するものである。今後は、市民サービスの低下や生活環境の悪化などを招くことがないよう、十分に検証を進める中で、段階的に民間委託を推進し、適切なごみの収集に努めていきたいと考えている。

(仮称)安否確認ホットラインの開設について

【質問】 近隣の付き合いが全くない、独居老人の情報を事前に把握するため、賃貸住宅に同居している場合、家主との情報連絡を取るべきであると考えているがどうか。

【答弁】 家主などこの事前の情報連絡は、個人情報保護の観点から困難ではないかと考えている。

未利用地の売却先について

【質問】 未利用地となっている土居小、藤田中跡地について、若い世代の市内への誘致策として、分譲住宅を建てる用途に供してはどうか。

【答弁】 第五次守口市総合基本計画において、本市の目標人口を15万人と定めており、次代を担う若い世代の定住・転入を促すまちづくりが重要であると認識している。未利用地の活用については、住民ニーズや民間の開発動向などを踏まえ検討していきたいと考えている。

定員適正化計画について

【質問】 新規採用職員は毎年採用していくのか。目標年次である平成30年度の職員数は何名が適正なのか。

【答弁】 市民サービスの低下を招くことのない職員配置を前提とし、新規採用職員については、毎年、継続的に採用し、また、定員適正化計画の目標年次である平成30年4月時点においては、70名の職員で市政運営することを目標に取り組んでいる。

もりぐち市民会議

澤井 良一
木村 剛久
津嶋 恭太



木村 剛久議員

守口市の将来都市像について

【質問】 市長は歓響都市もりぐちを具体的にどのようにイメージしているのか。

【答弁】 歓響都市とは、母子ともに健康で安心な出産、子どもたちの健やかな成長と学力の向上、家庭で笑顔が絶えない日々の暮らし、住み慣れたまちで安心して送れる老後の生活など、市民の皆様が夢と幸せが溢れるまちである。

大阪都構想について

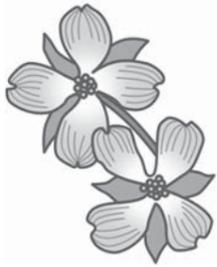
【質問】 現在進められている大阪都構想について、前回質問してから1年以上が経過している。現在、市長は都構想についてどのように考えているのか。

【答弁】 大阪都構想は、広域行政を一本化し、財源を集中投資することにより、世界の中で都市間競争に打ち勝つ大阪を目指すとするものであり、その結果、大阪全体の経済の活性化などにつながるものであると考えている。

保育の充実について

【質問】 保育所の統合について、建物の安全性などを考慮し、子どもたちがより良いものに通えるようにするため、再検討する考えはあるか。

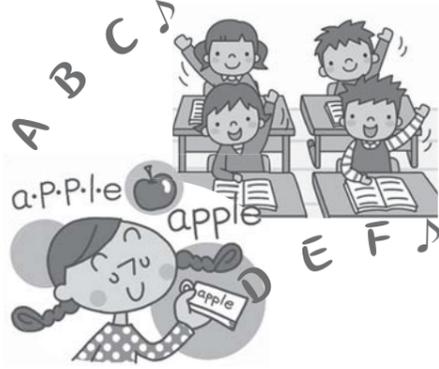
【答弁】 寺方保育所と南保育所の統合を計画する中で、現有施設での実施も検討したが、施設が狭隘であることなどから、教育委員会と協議し、第二中学校の校舎を活用することとした。耐震診断の結果、補強が困難な場合には、新築により実施するものと考えている。



英語教育について

【質問】 英語教育は、低年齢から始めることが習得につながると考える。現在、人材育成基金を使った事業で、小学校1年生から英語教育が行われているが、時間数が少ないなど、更なる充実が必要であると考えられているか。

【答弁】 英語教育については、小学校で各学年の発達段階に応じ、コミュニケーション能力の素地を養う活動に取り組んでいる。1年生から、体験的な活動を通して意欲的に取り組む子どもを育てることは大切であると考え、今後とも発達段階に応じた英語活動の充実を努めていく。



小・中学校の統廃合について

【質問】 よりよい学校づくりを行えるよう、児童生徒、親、地域の声を反映しながら進めているのか。

【答弁】 昨年4月から保護者・地域説明会を実施し、統合への理解が得られた校区から学校・保護者・地域の代表による統合校連絡会を立ち上げてアンケートを実施し、意見をまとめ、提言していただいている。これを踏まえ実施計画を作成し、今後も声を聞きながらより良い学校づくりを目指したいと考えている。

未来会議 守口

三浦 健男
福西 寿光



福西 寿光議員

公共施設のインターネットでの予約・支払可能なシステムについて

【質問】 利用予約について、インターネットで確認・予約可能な仕組みを構築し、使用料もネット上でクレジット決済ができるようにし、利便性向上のため、選択肢を増やすべきと考えられているか。

【答弁】 公共施設の予約及び使用料の支払い方法の多様化については、市民の利便性の向上、施設の稼働率の向上などの面から、有効な手段と認識している。使用料の支払い方法やシステムの運用方法なども含め、実施に向け検討していく。

生涯学習情報センターの複合化、付加価値の向上について

【質問】 より魅力ある施設にするため複合化し、積極的な付加価値をつけることにより、有効活用を図るべきだと考えるがどうか。

【答弁】 今後、市民の利便性の向上を図り、より活用しやすい施設とするため、これまでの施設機能について、検証を行い、リニューアル計画を策定していく。



生涯学習情報センター

守口市民に対する利用料金の助成について

【質問】 門真スポーツセンターのプールの一般料金は、大人800円である。他市では、割引利用引換券を発行している。

他市と同様に割引制度を導入すべきであると考えているか。

【答弁】 門真スポーツセンターのプールなどを市民に一般開放していない市において、これに替わる制度として実施している。本市は、夏期に各市立小学校のプールを利用した事業を実施し、割引利用引換券の発行は、事業の利用状況を勘案しながら、検討していく。

体罰問題と教員の指導について

【質問】 昨年12月に大阪市立の高校において、顧問教師による体罰が原因で、生徒が自殺する事件が発生した。子供が、バランスのとれた人間として成長するために、教師によるしっかりとした指導は不可欠である。教育委員会としてもバックアップするべきと考えられているか。

【答弁】 教育委員会としては、教職員の授業力及びカウンセリングマインドの向上にかかる研修を実施するとともに、学校の生徒指導体制の充実に向けた支援を行っている。

学力保障のための教員の授業力向上について

【質問】 学校教育における最も大きな目的の一つは、子供の学力保障であると考えている。そのためには、教師の授業力の研鑽が欠かせない。授業力向上のために、公開の場で、本市の教師の授業力を競う「授業力No.1グランプリ」を開催しているがどうか。

【答弁】 子どもの学力保障は、教員の授業力とともに、各学校が子どもの学力実態を捉え、学校全体で課題を共有し指導方法を確立して、組織的に取り組むことが重要であると考えている。提案の開催は、子どもたちの学力を向上させたいという趣旨であると思うので、今後とも授業力向上に取り組んでいく。

下表は、3～5ページに掲載していない質問項目の一覧です。

= 代表質問 =

【守口市議会公明党】 質問者 上田 敦
■街の活性化の取り組みについて ■グループホームの防火対策について ■都市環境整備について ■教育関係について

【日本共産党守口市会議員団】 質問者 杉本 悦子
■学校施設の耐震化に係る財源について ■起債の発行について ■職員の削減について ■社会福祉法人の許認可に係る権限移譲について ■小中一貫校について ■中学校給食について ■小学校における少人数学級の拡大について ■保育所への空調設備について ■放課後児童クラブでの障害児の受入について

【改革クラブ】 質問者 服部 浩之
■「もりぐち改革ビジョン」(案)の収支見込みの見直しについて ■市庁舎内の照明の明るさアップについて ■防災計画の市民への周知の徹底について ■子育て支援カードの実施について ■商店街に新規出店する若者の募集策について ■守口市駅前広場での大人の楽しめる音楽イベントの開催について ■一般道路の積極的な補修・点検について ■QRコードを活用した文化財解説について ■他人を思いやれる心を育てる教育について

【守口新政会】 質問者 竹内太司朗
■開かれた行政への取り組みについて ■官から民について ■福祉サービスの充実について ■コミュニティ活動の推進について ■定員適正化計画等について ■人事評価制度・給与制度について ■市の組織・機構について

【志政会】 質問者 作田 芳隆
■コミュニティ拠点施設の整備に向けた基本計画の策定について

【もりぐち市民会議】 質問者 木村 剛久
■魅力あるまちづくりについて ■安全・安心なまちづくりについて ■市民協働の推進について

【未来会議守口】 質問者 福西 寿光
■財政基盤の確立について ■総合窓口課設置における市民満足度の検証について ■介護予防運動教室受講修了者が、地域のリーダーとして活動できる仕組み作りについて ■マンホールトイレの積極的な整備について ■子供の安全について ■学校規模適正化にともなう学校統廃合における教育委員会の説明責任について ■学校施設のLED照明設置について ■児童クラブの障害児の受け入れ学年の拡大について

採決結果一覧

「○」は賛成、「×」は反対

Table with columns for 議案番号, 事件名, 結果, and various council members (改革クラブ, 日本共産党守口市議員団, 未来会議守口, もりぐち市民会議, 守口市議会公明党, 志政会, 守口新政会). Rows include 人事案件, 議員提出議案, 条例, 予算, 契約, 請願, 決議, and その他.

議長につき、採決には加わらない。

市議会からのお知らせ

◇本会議の生中継・録画配信について

2月定例会から、本会議の生中継・録画配信を下記のとおり実施しています。

本会議の生中継について

本会議の生中継を広く市民の皆様に見ていただくために、市役所1号別館3階の第2委員会室にモニターを設置しています。

本会議の録画配信について

動画共有サービス「You Tube」(ユーチューブ)を利用して、本会議の録画映像を市議会ホームページにて配信しています。

録画映像は、本会議開催日から1週間程度で配信します。

配信期間は、会議録ができるまでとします。



生中継視聴場所(市役所1号別館3階 第2委員会室)



◇議会傍聴のご案内

本会議の傍聴

- 受付時間: 開会予定時刻の1時間前から
●受付場所: 一般傍聴席受付 (市役所本館1階にある当直室隣の階段を上った3階)
●定員: 40名(先着順)

委員会の傍聴

- 受付時間: 開会予定時刻の1時間前から
●受付場所: 議会事務局(市役所本館3階)
●定員: 10名(先着順)

傍聴にいらっしやいませんか?

◇本会議の詳細は、会議録でご覧いただけます。

本会議の会議録を作成しています。市役所、各公民館、ムーブ21、エネルギーホールの各図書室でご覧いただけます。

また、市議会ホームページの、会議録検索システム・本会議録画配信でもご覧いただけます。

